

－受益者のみなさまへ－

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「マニュライフ・変動高金利戦略ファンド Aコース（為替ヘッジあり・毎月）／Bコース（為替ヘッジなし・毎月）／Cコース（為替ヘッジあり・年2回）／Dコース（為替ヘッジなし・年2回）」は、2023年7月31日をもちまして繰上償還となりました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として米ドル建ての銀行貸付債権に投資を行い、安定した金利収入の確保と信託財産の成長をめざして運用を行いました。

ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げますとともに、ご愛顧に対し厚くお礼申し上げます。

マニュライフ・変動高金利戦略ファンド

Aコース（為替ヘッジあり・毎月）

Bコース（為替ヘッジなし・毎月）

Cコース（為替ヘッジあり・年2回）

Dコース（為替ヘッジなし・年2回）

愛称：アメリカン・フロート

追加型投信／海外／その他資産（貸付債権）

償還交付運用報告書

A コ ー ス	償還日 (2023年7月31日)		第115期～第119期 (2023年3月7日～2023年7月31日)	
	償還価額	5,948円04銭	騰落率	△0.9%
	純資産総額	364百万円	分配金合計	75円
B コ ー ス	償還日 (2023年7月31日)		第115期～第119期 (2023年3月7日～2023年7月31日)	
	償還価額	7,253円21銭	騰落率	2.7%
	純資産総額	1,256百万円	分配金合計	180円
C コ ー ス	償還日 (2023年7月31日)		第20期 (2023年3月7日～2023年7月31日)	
	償還価額	9,589円21銭	騰落率	△1.0%
	純資産総額	38百万円	分配金合計	－円
D コ ー ス	償還日 (2023年7月31日)		第20期 (2023年3月7日～2023年7月31日)	
	償還価額	15,139円38銭	騰落率	1.7%
	純資産総額	101百万円	分配金合計	－円

(注) 騰落率は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

Aコース（為替ヘッジあり・毎月）／
Bコース（為替ヘッジなし・毎月）
第20作成期

第115期（決算日 2023年4月5日）
第116期（決算日 2023年5月8日）
第117期（決算日 2023年6月5日）
第118期（決算日 2023年7月5日）
第119期（償還日 2023年7月31日）

作成対象期間（2023年3月7日～2023年7月31日）

Cコース（為替ヘッジあり・年2回）／
Dコース（為替ヘッジなし・年2回）

第20期（償還日 2023年7月31日）

作成対象期間（2023年3月7日～2023年7月31日）

マニュライフ・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-1 丸の内トラストタワーN館

お問い合わせ先

サポートダイヤル：03-6267-1901

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

ホームページアドレス：www.manulifeim.co.jp/

当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により交付する旨を定めております。

<閲覧方法>

当社ホームページアドレスにアクセス⇒各種情報を選択⇒償還ファンド一覧を選択

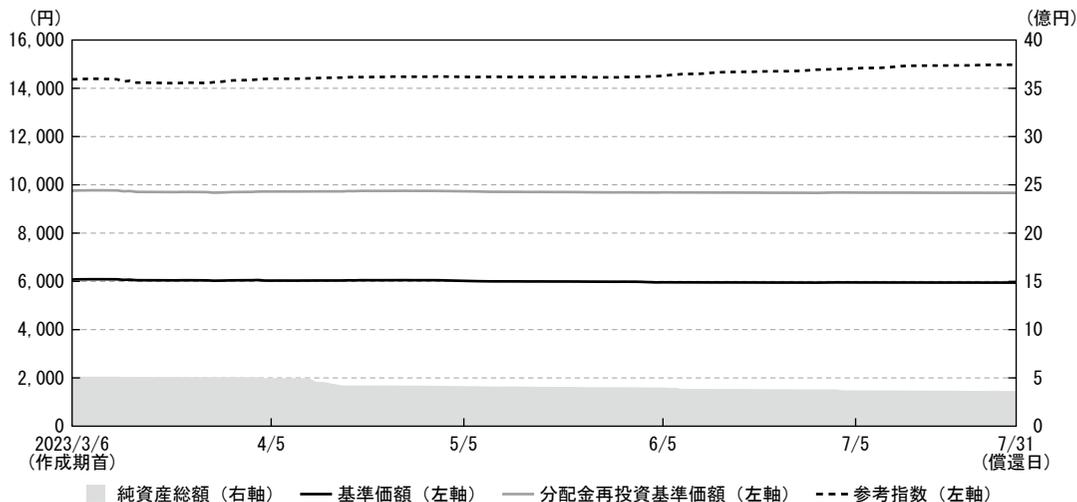
※将来、ホームページの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。

○運用報告書（全体版）については、弊社ホームページに掲載しています。また、運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社にお問い合わせ下さい。販売会社にご請求いただければ当該販売会社を通じて交付いたします。

運用経過

■基準価額等の推移（2023年3月7日から2023年7月31日まで）

Aコース



作成期首： 6,078円

償還日： 5,948円04銭（既払分配金75円）

騰落率： $\Delta 0.9\%$ （分配金再投資ベース）

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資（複利運用）したものととして、委託会社が算出したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドの参考指数は、クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックス（配当込み／米ドルベース）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として、委託会社が算出したものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

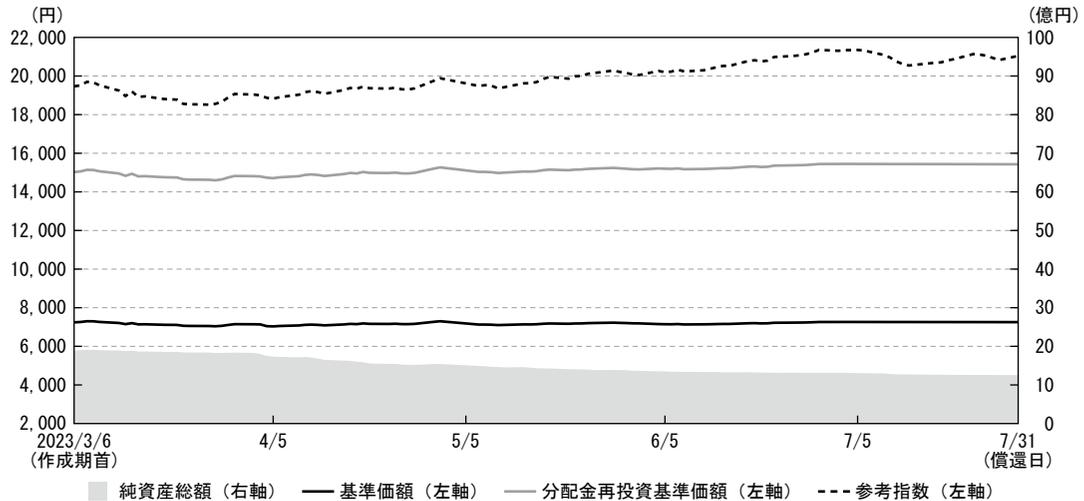
- ・投資先ファンドの保有する銀行貸付債権の安定的な利息収入がプラス寄与しました。
- ・銀行貸付債権の価格上昇がプラス寄与しました。
- ・為替ヘッジ取引にかかるコスト（ヘッジコスト）がマイナス寄与しました。

◆当作成期間の組入ファンドの騰落率

組入ファンド	騰落率
マニュライフ・インベストメンツ・トラスト・フローティング・レート・インカム・ファンド クラスA	$\Delta 1.5\%$
マニュライフ・日本債券インデックス・マザーファンド	0.5%

■基準価額等の推移（2023年3月7日から2023年7月31日まで）

Bコース



作成期首： 7,243円

償還日：7,253円21銭（既払分配金180円）

騰落率： 2.7%（分配金再投資ベース）

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資（複利運用）したものととして、委託会社が算出したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドの参考指数は、クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックス（配当込み/円換算ベース/三菱UFJ銀行T T M）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として、委託会社が算出したものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

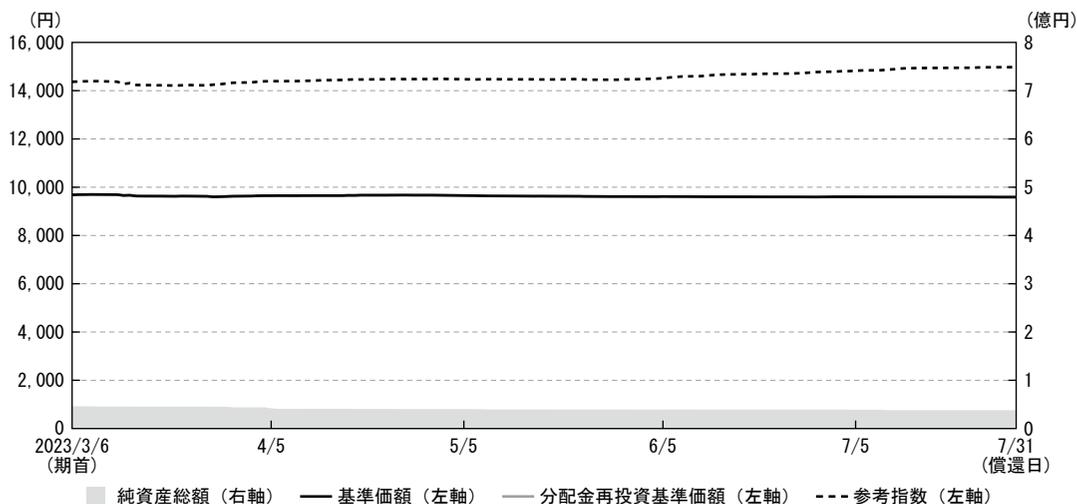
- ・投資先ファンドの保有する銀行貸付債権の安定的な利息収入がプラス寄与しました。
- ・銀行貸付債権の価格上昇がプラス寄与しました。
- ・円が米ドルに対し下落（円安）したことがプラス寄与しました。

◆当作成期間の組入ファンドの騰落率

組入ファンド	騰落率
マニユライフ・インベストメンツ・トラスト・フローティング・レート・インカム・ファンド クラスA	△1.5%
マニユライフ・日本債券インデックス・マザーファンド	0.5%

■基準価額等の推移（2023年3月7日から2023年7月31日まで）

Cコース



期首： 9,682円
償還日：9,589円21銭（既払分配金一元）
騰落率： $\Delta 1.0\%$ （分配金再投資ベース）

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資（複利運用）したものととして、委託会社が算出したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドの参考指数は、クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックス（配当込み/米ドルベース）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として、委託会社が算出したものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

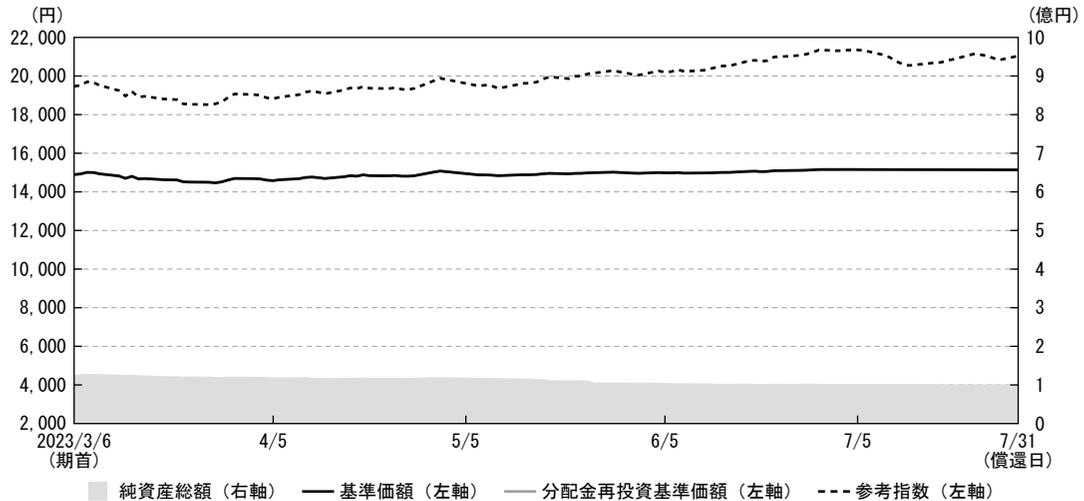
- ・投資先ファンドの保有する銀行貸付債権の安定的な利息収入がプラス寄与しました。
- ・銀行貸付債権の価格上昇がプラス寄与しました。
- ・為替ヘッジ取引にかかるコスト（ヘッジコスト）がマイナス寄与しました。

◆当期間の組入ファンドの騰落率

組入ファンド	騰落率
マニユライフ・インベストメンツ・トラスト・フローティング・レート・インカム・ファンド クラスA	$\Delta 1.5\%$
マニユライフ・日本債券インデックス・マザーファンド	0.5%

■基準価額等の推移（2023年3月7日から2023年7月31日まで）

Dコース



期首： 14,893円

償還日： 15,139円38銭（既払分配金一元）

騰落率： 1.7%（分配金再投資ベース）

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資（複利運用）したものととして、委託会社が算出したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドの参考指数は、クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックス（配当込み/円換算ベース/三菱UFJ銀行TTM）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として、委託会社が算出したものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

- ・投資先ファンドの保有する銀行貸付債権の安定的な利息収入がプラス寄与しました。
- ・銀行貸付債権の価格上昇がプラス寄与しました。
- ・円が米ドルに対し下落（円安）したことがプラス寄与しました。

◆当期間の組入ファンドの騰落率

組入ファンド	騰落率
マニユライフ・インベストメンツ・トラスト・フローティング・レート・インカム・ファンド クラスA	△1.5%
マニユライフ・日本債券インデックス・マザーファンド	0.5%

【Aコース】

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第115期～第119期		項目の概要
	(2023年3月7日～2023年7月31日)		
	金額	比率	
平均基準価額	6,006円	—	作成期間の平均基準価額（月末値の平均値）です。
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	31円 (12) (19) (1)	0.519% (0.199) (0.309) (0.011)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 ・委託した資金の運用の対価 ・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 募集手数料	—	—	
(c) 売買委託手数料	—	—	(c) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(d) 有価証券取引税	—	—	(d) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用 （保管費用） （印刷） （その他）	6 (0) (4) (1)	0.104 (0.007) (0.073) (0.024)	(e) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 その他費用 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・印刷は、印刷会社等に支払う法定書類の作成等に係る費用 ・その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	37	0.623	

* 作成期間の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

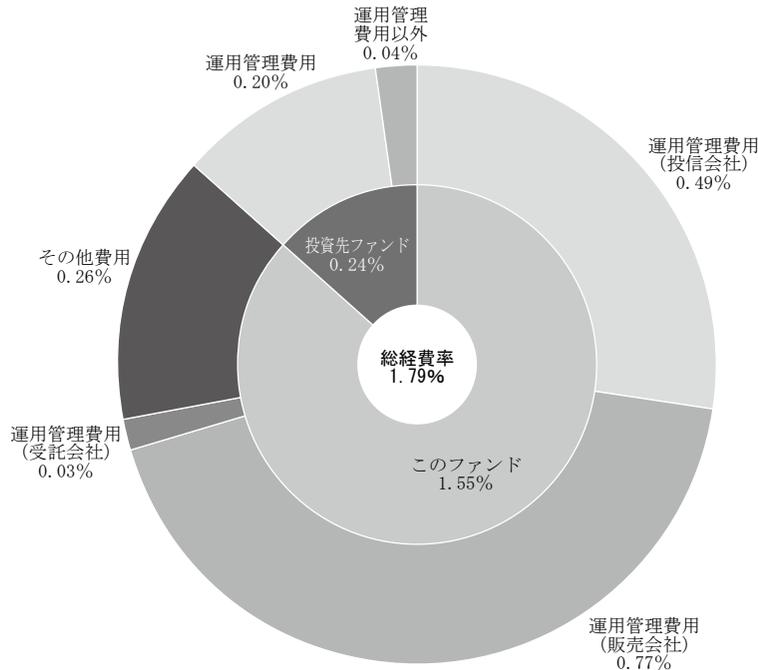
* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.79%です。



総経費率（①+②+③）	1.79%
①このファンドの費用の比率	1.55%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.20%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

- *①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- *各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- *各比率は、年率換算した値です。
- *投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
- *①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- *①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- *上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

【Bコース】

■ 1万口当たりの費用明細

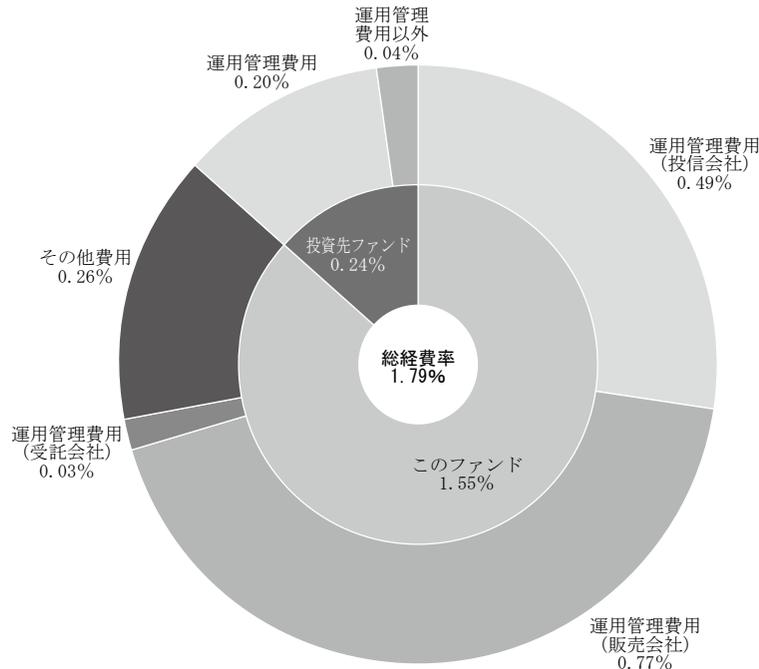
項目	第115期～第119期		項目の概要
	(2023年3月7日～2023年7月31日)		
	金額	比率	
平均基準価額	7,193円	—	作成期間の平均基準価額（月末値の平均値）です。
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	37円 (14) (22) (1)	0.519% (0.199) (0.309) (0.011)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 ・委託した資金の運用の対価 ・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 募集手数料	—	—	
(c) 売買委託手数料	—	—	(c) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(d) 有価証券取引税	—	—	(d) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用 （保管費用） （印刷） （その他）	7 (0) (6) (2)	0.104 (0.002) (0.078) (0.024)	(e) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 その他費用 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・印刷は、印刷会社等に支払う法定書類の作成等に係る費用 ・その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	44	0.623	

- * 作成期間の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
* 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。
* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.79%です。



総経費率（①+②+③）	1.79%
①このファンドの費用の比率	1.55%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.20%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

- *①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- *各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- *各比率は、年率換算した値です。
- *投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
- *①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- *①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- *上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

【Cコース】

■ 1万円当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2023年3月7日～2023年7月31日)		
	金額	比率	
平均基準価額	9,626円	—	期中の平均基準価額（月末値の平均値）です。
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	50円 (19) (30) (1)	0.519% (0.199) (0.309) (0.011)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・委託した資金の運用の対価 ・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 募集手数料	—	—	
(c) 売買委託手数料	—	—	(c) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(d) 有価証券取引税	—	—	(d) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用 （保管費用） （印刷） （その他）	18 (9) (7) (3)	0.188 (0.094) (0.068) (0.026)	(e) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他費用 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・印刷は、印刷会社等に支払う法定書類の作成等に係る費用 ・その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	68	0.707	

* 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

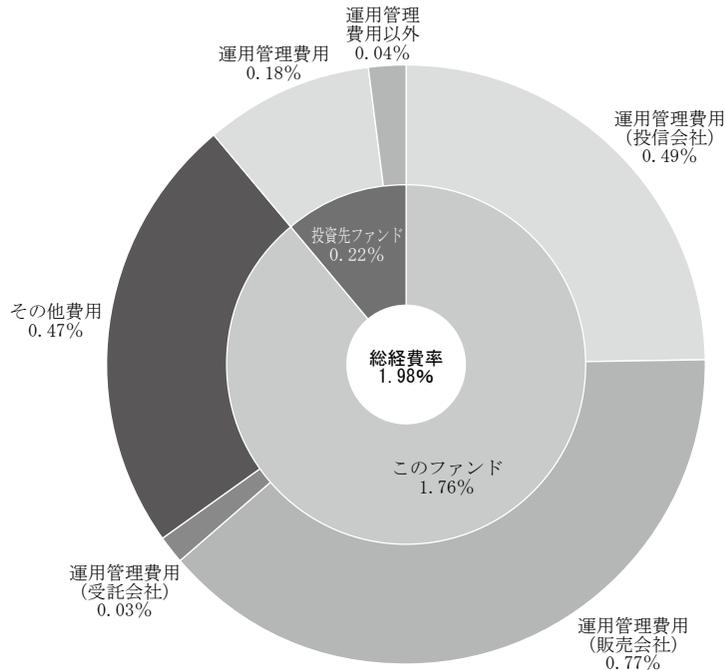
* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

* 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.98%です。



総経費率 (①+②+③)	1.98%
①このファンドの費用の比率	1.76%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.18%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

- *①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- *各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- *各比率は、年率換算した値です。
- *投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
- *①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- *①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- *上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

【Dコース】

■ 1万円当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2023年3月7日～2023年7月31日)		
	金額	比率	
平均基準価額	14,919円	—	期中の平均基準価額（月末値の平均値）です。
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	77円 (30) (46) (2)	0.519% (0.199) (0.309) (0.011)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・委託した資金の運用の対価 ・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 募集手数料	—	—	
(c) 売買委託手数料	—	—	(c) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(d) 有価証券取引税	—	—	(d) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用 （保管費用） （印刷） （その他）	17 (3) (10) (4)	0.115 (0.022) (0.067) (0.027)	(e) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他費用 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・印刷は、印刷会社等に支払う法定書類の作成等に係る費用 ・その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	94	0.634	

* 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

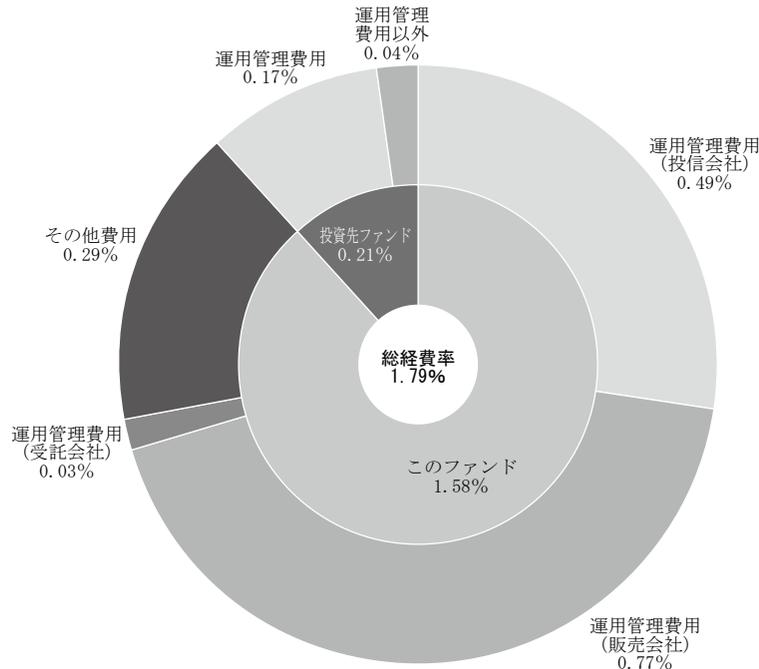
* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

* 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.79%です。

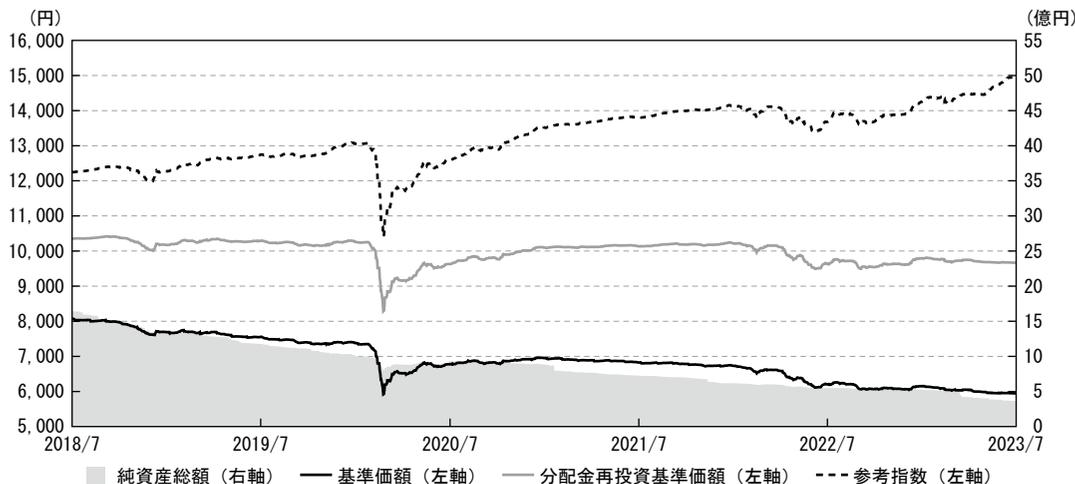


総経費率（①+②+③）	1.79%
①このファンドの費用の比率	1.58%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.17%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

- *①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- *各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- *各比率は、年率換算した値です。
- *投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
- *①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- *①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- *上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移

Aコース



※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資（複利運用）したものととして、委託会社が算出したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドの参考指数は、クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックス（配当込み/米ドルベース）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として、委託会社が算出したものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のおお客様の損益状況を示すものではありません。

決算日	2019年3月5日 (期初)	2020年3月5日	2021年3月5日	2022年3月7日	2023年3月6日	2023年7月31日 (償還日)
基準価額 (円)	7,712	7,202	6,913	6,625	6,078	5,948.04
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	345	300	300	300	75
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△2.2	0.3	0.2	△3.7	△0.9
参考指数騰落率 (%)	—	3.4	5.4	3.1	2.4	4.2
純資産総額 (億円)	13.4	9.8	7.9	6.0	5.1	3.6

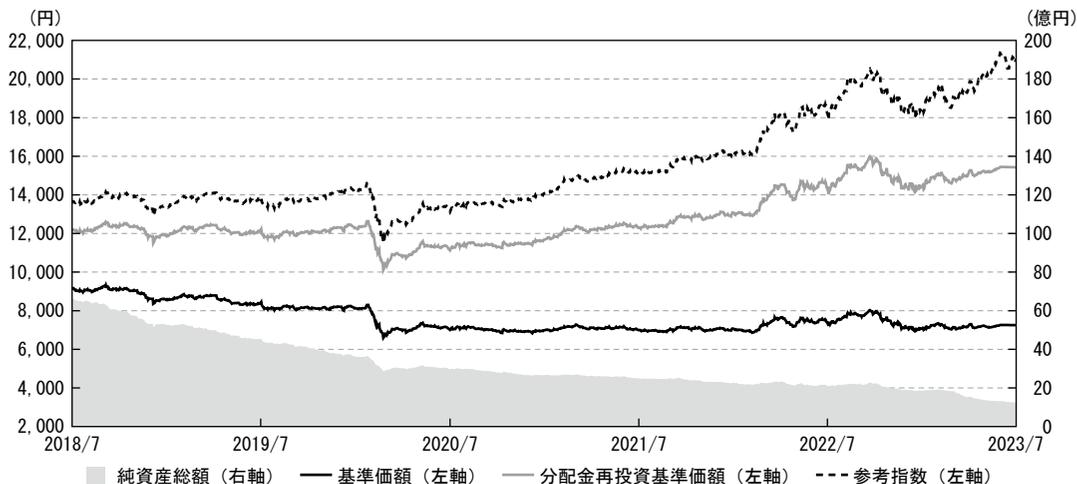
※当ファンドは特定のベンチマークとの連動またはそれを上回ることをめざして運用を行うものではありませんので、ベンチマークを設定しておりません。したがって、参考として参考指数の騰落率を表示しております。

※参考指数に関して

クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックスは、クレディ・スイス証券が算出する、銀行貸付債権の値動きを示す代表的な指数です。

■最近5年間の基準価額等の推移

Bコース



※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資（複利運用）したものととして、委託会社が算出したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドの参考指数は、クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックス（配当込み/円換算ベース/三菱UFJ銀行T T M）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として、委託会社が算出したものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のおお客様の損益状況を示すものではありません。

決算日	2019年3月5日 (期初)	2020年3月5日	2021年3月5日	2022年3月7日	2023年3月6日	2023年7月31日 (償還日)
基準価額 (円)	8,793	7,775	7,106	6,863	7,243	7,253.21
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	720	720	720	720	180
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△3.5	1.2	7.0	16.3	2.7
参考指数騰落率 (%)	—	△0.7	5.8	10.0	21.1	8.1
純資産総額 (億円)	52.8	34.0	26.7	21.6	18.9	12.6

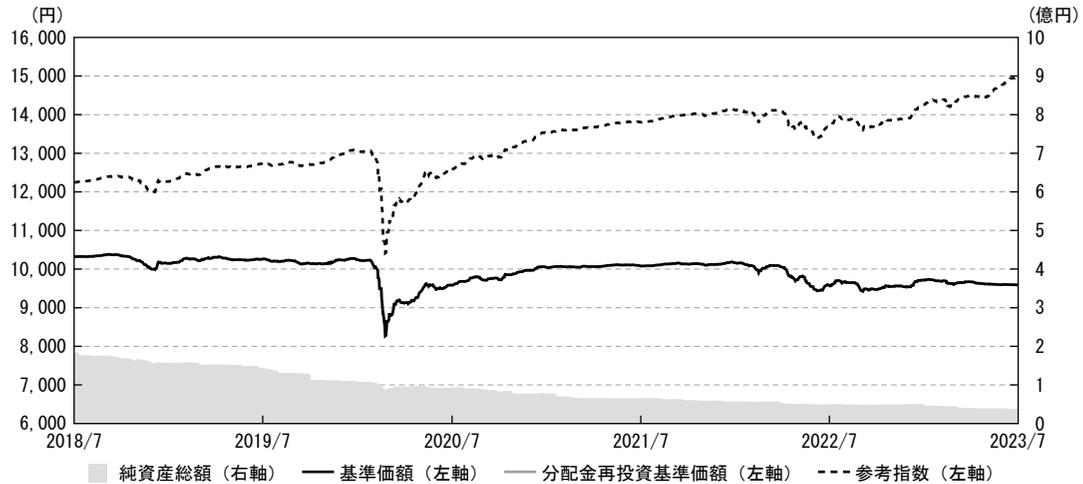
※当ファンドは特定のベンチマークとの連動またはそれを上回ることをめざして運用を行うものではありませんので、ベンチマークを設定しておりません。したがって、参考として参考指数の騰落率を表示しております。

※参考指数に関して

クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックスは、クレディ・スイス証券が算出する、銀行貸付債権の値動きを示す代表的な指数です。

■最近5年間の基準価額等の推移

Cコース



※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資（複利運用）したものととして、委託会社が算出したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドの参考指数は、クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックス（配当込み/米ドルベース）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として、委託会社が算出したものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のおお客様の損益状況を示すものではありません。

決算日	2019年3月5日 (期初)	2020年3月5日	2021年3月5日	2022年3月7日	2023年3月6日	2023年7月31日 (償還日)
基準価額 (円)	10,282	10,059	10,063	10,072	9,682	9,589.21
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△2.2	0.0	0.1	△3.9	△1.0
参考指数騰落率 (%)	—	3.4	5.4	3.1	2.4	4.2
純資産総額 (億円)	1.6	1.1	0.7	0.6	0.5	0.4

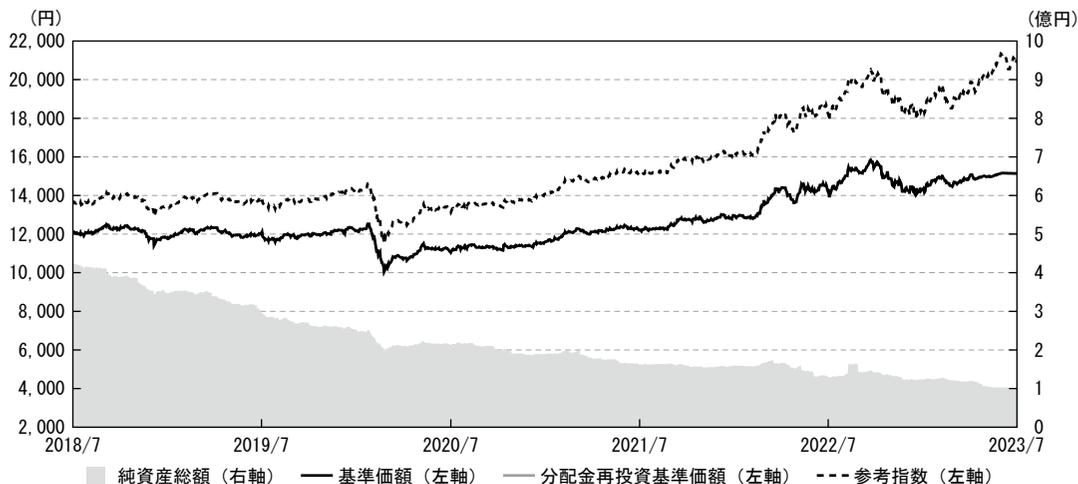
※当ファンドは特定のベンチマークとの連動またはそれを上回ることをめざして運用を行うものではありませんので、ベンチマークを設定しておりません。したがって、参考として参考指数の騰落率を表示しております。

※参考指数に関して

クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックスは、クレディ・スイス証券が算出する、銀行貸付債権の値動きを示す代表的な指数です。

■最近5年間の基準価額等の推移

Dコース



※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資（複利運用）したものととして、委託会社が算出したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※当ファンドの参考指数は、クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックス（配当込み／円換算ベース／三菱UFJ銀行T T M）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として、委託会社が算出したものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益状況を示すものではありません。

決算日	2019年3月5日 (期初)	2020年3月5日	2021年3月5日	2022年3月7日	2023年3月6日	2023年7月31日 (償還日)
基準価額 (円)	12,260	11,826	11,989	12,806	14,893	15,139.38
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△3.5	1.4	6.8	16.3	1.7
参考指数騰落率 (%)	—	△0.7	5.8	10.0	21.1	8.1
純資産総額 (億円)	3.5	2.3	2.0	1.6	1.3	1.0

※当ファンドは特定のベンチマークとの連動またはそれを上回ることをめざして運用を行うものではありませんので、ベンチマークを設定しておりません。したがって、参考として参考指数の騰落率を表示しております。

※参考指数に関して

クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックスは、クレディ・スイス証券が算出する、銀行貸付債権の値動きを示す代表的な指数です。

■投資環境

[米国債券／銀行貸付債権市況]

全コース共通

米10年国債利回りは期初に3.9%台で始まった後、米国地方銀行の破綻を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、インフレ鈍化の兆候を示す経済指標などを受けて、4月上旬にかけて3.3%台に低下しました。その後、米連邦政府の債務上限問題に加えて、追加利上げ観測の再燃や利上げ長期化観測の高まりなどから上昇し、3.9%台で期を終えました。

銀行貸付債権は、3月は投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから小幅下落しましたが、その後は、クレジットスプレッドの縮小による価格の上昇に加え、安定的な利息収入などを背景にトータルリターンベースでは期を通じて上昇しました。

[為替市況]

Bコース／Dコース

外国為替市場では、円は米ドルに対して下落（円安）しました。期初に米ドルは135円台で始まり、3月は米国地方銀行の破綻に対してF R B（米連邦準備制度理事会）が金融政策を緩和化するとの観測から米ドル安傾向となりました。その後は、日本銀行（中央銀行）が金融緩和政策を維持する一方で、米国の追加利上げ観測が再燃し、米長期金利の上昇に伴う日米金利差の拡大などから米ドル高が進み、当期末には140円台となりました。

[日本債券市況]

全コース共通

当期間の10年国債利回りは、作成期初0.506%から作成期末0.612%となり利回りは上昇（価格は下落）しました。

■当該投資信託のポートフォリオ 全コース共通

繰上償還に向けて、主要投資対象とする「ケイマン籍外国投資信託「マニユライフ・インベストメンツ・トラスト・フローティング・レート・インカム・ファンド クラスA」（以下「MITーフローティング・レート・インカム・ファンド クラスA」といいます。）（米ドル建て）」の受益証券を売却し、現金化を行いました。

MITーフローティング・レート・インカム・ファンド クラスA

繰上償還に向けて組入資産の現金化を行いました。

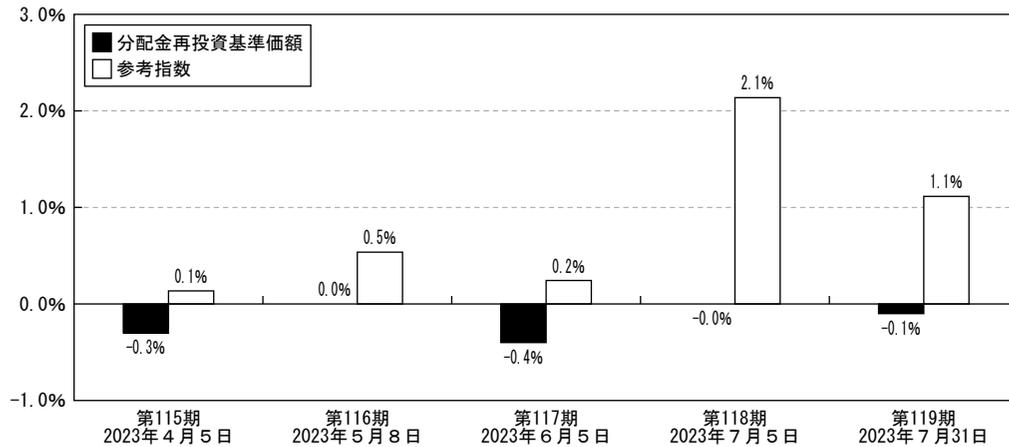
マニユライフ・日本債券インデックス・マザーファンド

NOMURA-BPI 総合に採用されている公社債に投資することにより、同インデックスの動きに連動する投資成果をめざして運用を行いました。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

Aコース

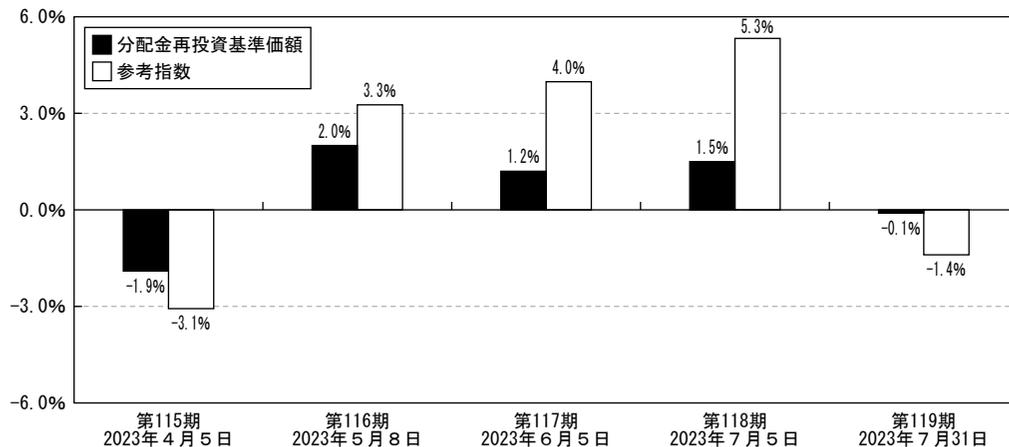
当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



※当ファンドの参考指数は、クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックス（配当込み/米ドルベース）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として、委託会社が算出したものです。

Bコース

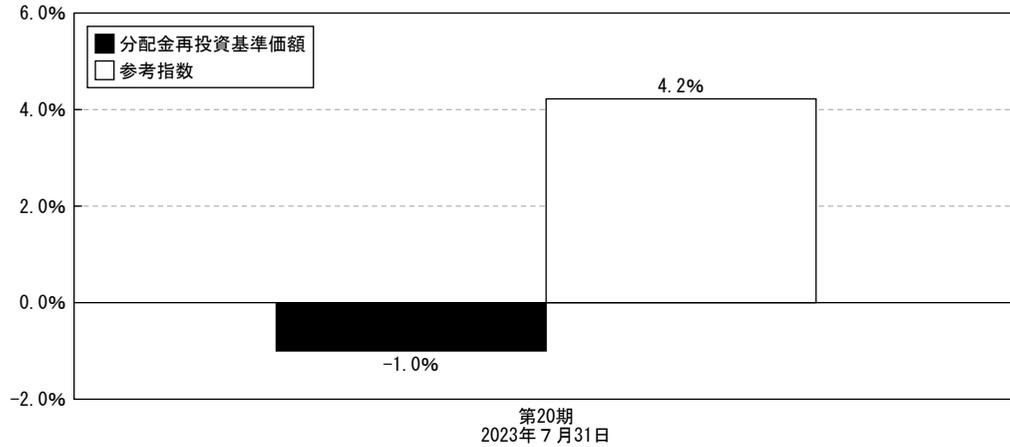
当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



※当ファンドの参考指数は、クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックス（配当込み/円換算ベース/三菱UFJ銀行T T M）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として、委託会社が算出したものです。

Cコース

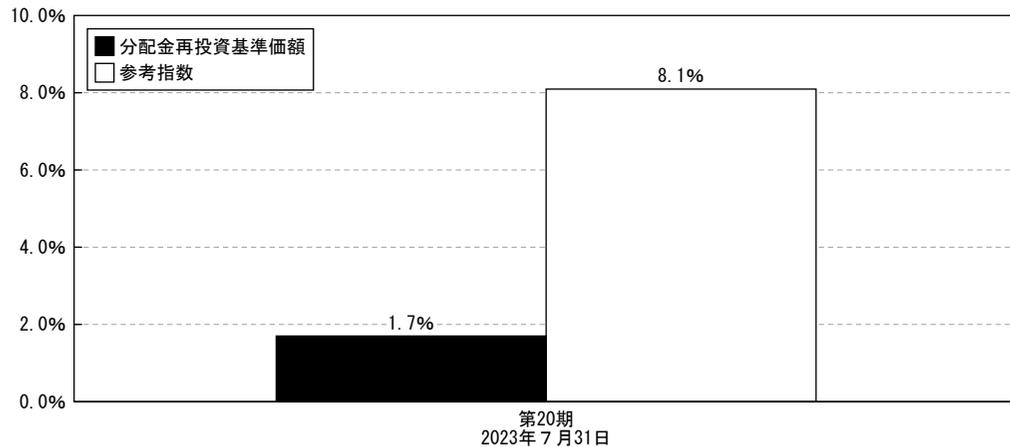
当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



※当ファンドの参考指数は、クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックス（配当込み/米ドルベース）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として、委託会社が算出したものです。

Dコース

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



※当ファンドの参考指数は、クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックス（配当込み/円換算ベース/三菱UFJ銀行T T M）です。当参考指数は、ファンドの設定日の前営業日を10,000として、委託会社が算出したものです。

■収益分配金について

Aコース

当作成期間の収益分配は、分配方針に基づき第115期～第117期は25円、合計75円（1万口当たり、税引前）とさせていただきます。留保益の運用については、元本部分と同一の運用を行いました。

[分配原資の内訳]

（1万口当たり、税引前）

	第115期		第116期		第117期		第118期	
	自 2023年3月7日 至 2023年4月5日	自 2023年4月6日 至 2023年5月8日	自 2023年4月6日 至 2023年5月8日	自 2023年5月9日 至 2023年6月5日	自 2023年5月9日 至 2023年6月5日	自 2023年6月6日 至 2023年7月5日	自 2023年6月6日 至 2023年7月5日	
当期分配金 (円)	25	25	25	25	25	—	—	
(対基準価額比率) (%)	0.413	0.414	0.414	0.418	0.418	—	—	
当期の収益 (円)	17	22	22	10	10	—	—	
当期の収益以外 (円)	7	2	2	14	14	—	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	467	467	467	453	453	—	—	

(注1) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注3) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

Bコース

当作成期間の収益分配は、分配方針に基づき第115期～第117期は60円、合計180円（1万口当たり、税引前）とさせていただきます。留保益の運用については、元本部分と同一の運用を行いました。

[分配原資の内訳]

（1万口当たり、税引前）

	第115期		第116期		第117期		第118期	
	自 2023年3月7日 至 2023年4月5日	自 2023年4月6日 至 2023年5月8日	自 2023年4月6日 至 2023年5月8日	自 2023年5月9日 至 2023年6月5日	自 2023年5月9日 至 2023年6月5日	自 2023年6月6日 至 2023年7月5日	自 2023年6月6日 至 2023年7月5日	
当期分配金 (円)	60	60	60	60	60	—	—	
(対基準価額比率) (%)	0.845	0.835	0.835	0.832	0.832	—	—	
当期の収益 (円)	20	33	33	18	18	—	—	
当期の収益以外 (円)	39	26	26	41	41	—	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	586	562	562	522	522	—	—	

(注1) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注3) 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

Cコース

基準価額水準・市況動向等を勘案した結果、分配金のお支払いは見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した利益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いました。

Dコース

基準価額水準・市況動向等を勘案した結果、分配金のお支払いは見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した利益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いました。

■今後の運用方針

全コース共通

該当事項はありません。

このたび繰上償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドをご愛顧賜りますよう、お願い申し上げます。

お知らせ

◆約款変更

該当事項はありません。

◆運用体制の変更

該当事項はありません。

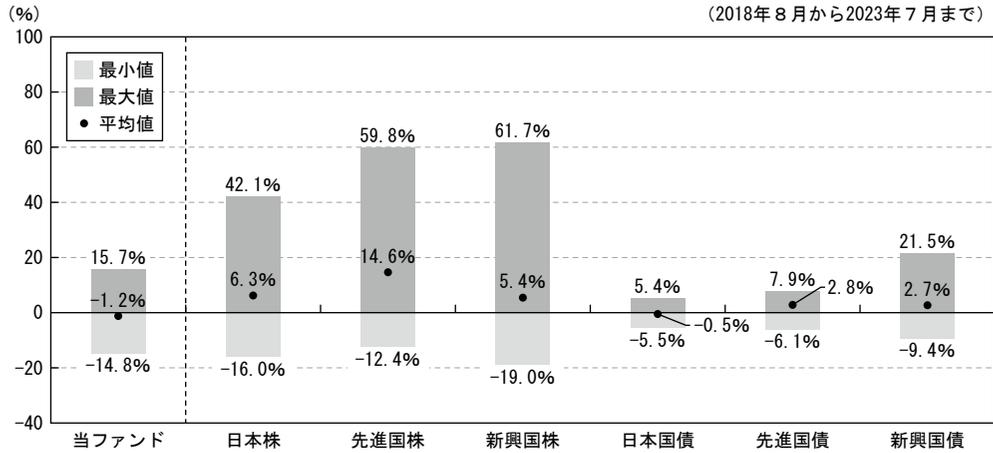
当該投資信託の概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／その他資産（貸付債権）
信 託 期 間	2013年9月12日から2023年7月31日までです。
運 用 方 針	投資信託証券への投資を通じて、主として米ドル建ての銀行貸付債権に投資を行い、安定的な金利収入の確保と信託財産の成長をめざして運用を行います。
主 な 投 資 対 象	投資信託証券（外国籍投資信託証券および国内投資信託証券（親投資信託を含みます。）を含みます。）を主要投資対象とします。 ・ケイマン籍外国投資信託「マニュライフ・インベストメンツ・トラスト・フローティング・レート・インカム・ファンド クラスA」 ・親投資信託「マニュライフ・日本債券インデックス・マザーファンド」
運 用 方 法	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ③同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
分 配 方 針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託会社が基準価額の水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。

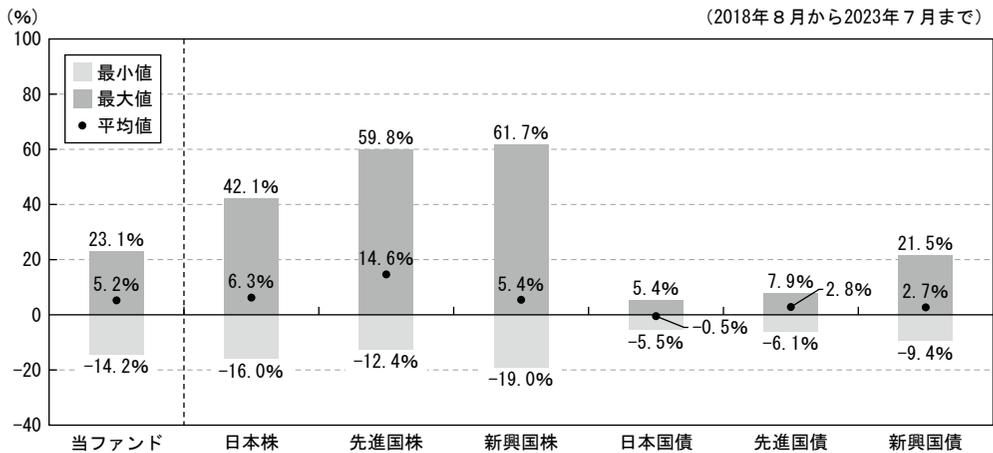
（参考情報）

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

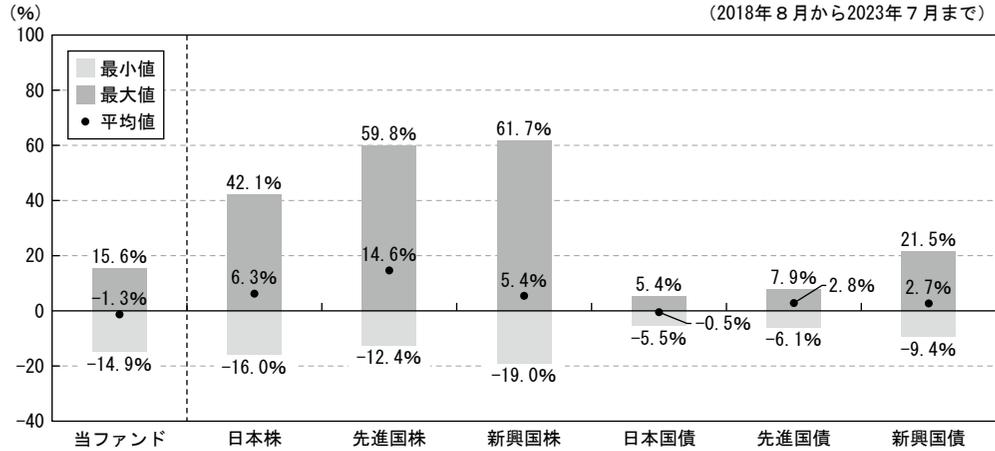
Aコース



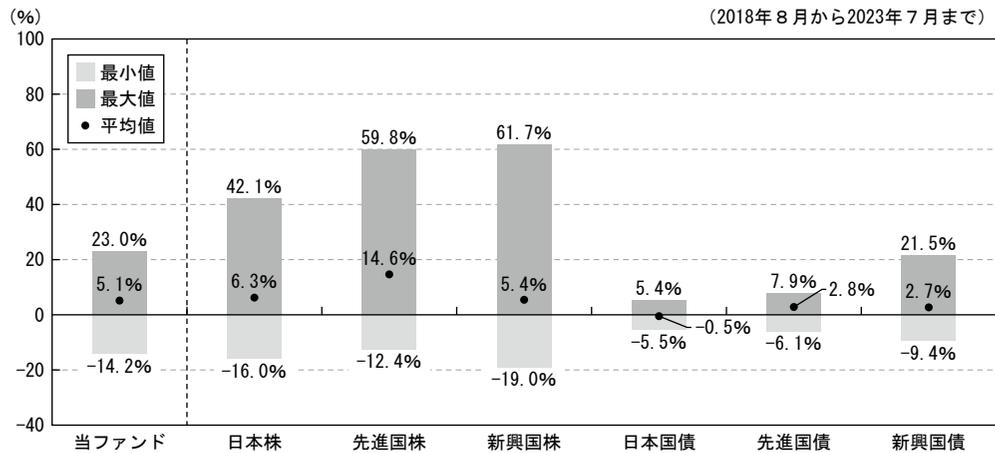
Bコース



Cコース



Dコース



- ※グラフは、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。
- ※当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した基準価額の年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ※前記は、2018年8月から2023年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。
- ※前記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

○各資産クラスの騰落率を計算するために使用した指数

日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（円換算ベース）

（注）海外の指数は、各資産クラスに為替ヘッジなしによる投資を行うことを想定して、円換算しております。

※詳細は後掲の「指数に関して」をご参照ください。

当該投資信託のデータ

■当該ファンドの組入資産の内容

Aコース

2023年7月31日現在、組入れはございません。

Bコース

2023年7月31日現在、組入れはございません。

Cコース

2023年7月31日現在、組入れはございません。

Dコース

2023年7月31日現在、組入れはございません。

■純資産等

Aコース

項目	第115期末	第116期末	第117期末	第118期末	償還時
	2023年4月5日	2023年5月8日	2023年6月5日	2023年7月5日	2023年7月31日
純資産総額	498,514,008円	413,701,417円	400,923,528円	371,446,982円	364,544,859円
受益権総口数	826,371,030口	688,476,665口	672,994,410口	623,686,084口	612,881,944口
1万口当たり基準（償還）価額	6,033円	6,009円	5,957円	5,956円	5,948円04銭

（注）当作成期間（第115期～第119期）中における追加設定元本額は2,610,692円、同解約元本額は232,538,968円です。

Bコース

項目	第115期末	第116期末	第117期末	第118期末	償還時
	2023年4月5日	2023年5月8日	2023年6月5日	2023年7月5日	2023年7月31日
純資産総額	1,752,571,924円	1,492,462,748円	1,353,929,581円	1,308,279,223円	1,256,704,076円
受益権総口数	2,488,119,751口	2,094,119,295口	1,893,031,857口	1,801,502,636口	1,732,617,542口
1万口当たり基準（償還）価額	7,044円	7,127円	7,152円	7,262円	7,253円21銭

（注）当作成期間（第115期～第119期）中における追加設定元本額は37,038,514円、同解約元本額は918,091,263円です。

Cコース

項目	償還時
	2023年7月31日
純資産総額	38,059,672円
受益権総口数	39,690,122口
1万口当たり償還価額	9,589円21銭

（注）当期中における追加設定元本額は194,626円、同解約元本額は8,015,452円です。

Dコース

項目	償還時
	2023年7月31日
純資産総額	101,400,221円
受益権総口数	66,977,794口
1万口当たり償還価額	15,139円38銭

（注）当期中における追加設定元本額は1,874,587円、同解約元本額は19,710,989円です。

指数に関して

■「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数（TOPIX）

東証株価指数（TOPIX）は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数（TOPIX）の商標または標章に関するすべての権利はJPXが有しています。なお、本商品は、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、JPXは、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

MSCIコクサイ・インデックス

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株式指数で、日本を除く世界の主要国で構成されています。同指数の著作権、知的所有権その他一切の権利は同社に帰属します。同社は、同指数の内容を変更・公表を停止する権利を有しています。指数の実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株式指数で、世界の新興国で構成されています。同指数の著作権、知的所有権その他一切の権利は同社に帰属します。同社は、同指数の内容を変更・公表を停止する権利を有しています。指数の実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスに用いて行われる事業活動・サービスに一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドは、JPMorgan・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJPMorgan・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。